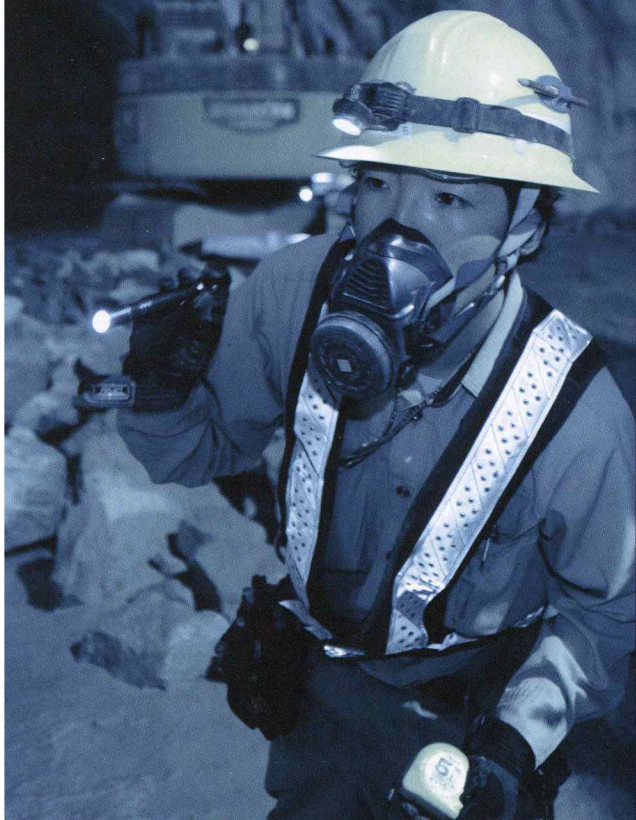


TUNNEL

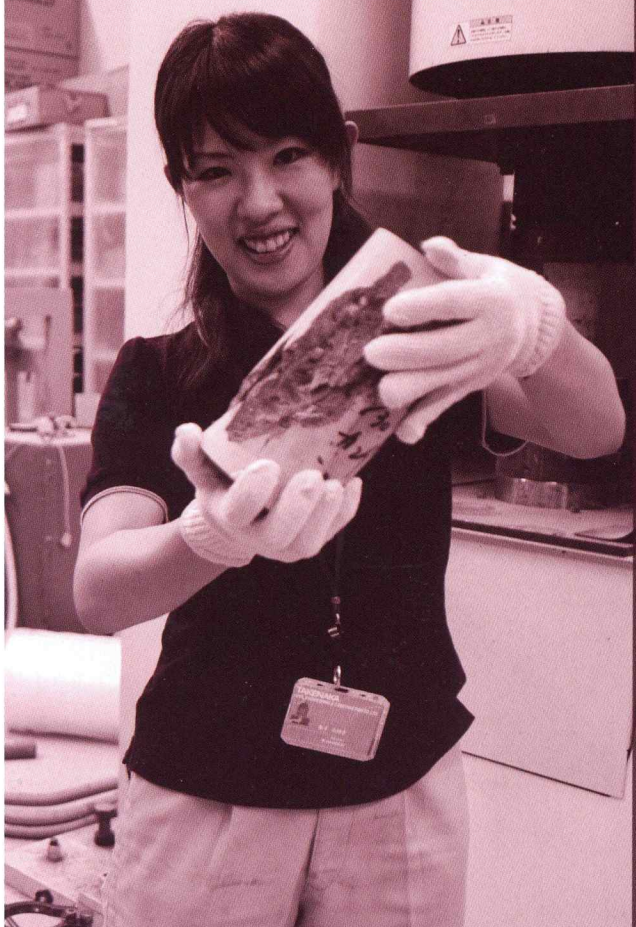
仕事を知る

SHIELD



誇りある土木のフィールドで働くこととは…  
未来を支えるプロフェッショナルとしての喜び

TECHNOLOGY



SLUICE GATE



竹中土木



## 責任ある仕事こそ “やりがい”は大きい

施工管理  
山内 佑太朗 (2009年入社/工学部 社会デザイン工学科)  
大和御所道路 水トンネル工事(奈良県)

「地図に遺る大きな仕事」を夢みて…土木系の学科に入学。先輩の話しを聞いて竹中土木に入社。以来、たくさんの失敗を経験しましたが、与えられた役割に責任を持って自分で考え、思い描いた工程・計画の通りに現場を動かして工事を終えた時の充実感と達成感は何ものにも変えられない…感動と喜びがあります。また、施工過程には「正解」がないので、様々な職人さんたちの意見を集約して、あれこれ考えながら工事を進めていくことにも「やりがい」と楽しさを感じています。

### 学生の皆さんへ…

建設業は大変なことが多く難しい仕事ですが、その分「やりがい」や「達成感」は大きいですよ。苦労しながら終えた工事が地図に載っているのをみると…心の底から感動しますし、家族にも自慢できます(笑)。何事も積極的に取り組み失敗してもひたすら起き上るといふ強い気持ちで、土木業界と一緒に盛り上げましょう！

## 社に“足跡”を残せる 技術開発を目指して…

研究開発  
四宮 みゆき (2008年入社/自然科学研究科 社会基盤工学専攻)  
技術生産本部・技術開発部/竹中技術研究所 研究員

「女子には難しい」と言われたゼネコンでしたが、情熱と周りのサポートでクリア。体力的に厳しい面もありましたが、自分で考えてモノを造る達成感は格別！…とにかく現場は楽しかったですね。今は、技術研究所で「現場が求める」技術を研究・開発していますが、“品質の良いモノを造りたい”という現場時代の初心を忘れず、社に“足跡”を残せるような技術開発を目指しながら、大好きな「現場」にはこの先もずっと関わっていきたくと思っています。

### 学生の皆さんへ…

「会社になじめるか、仕事についていけるか」不安を感じる方は多いと思います。私はそうでした。周りは男性ばかり…しかし同期の仲間とともに暮らし、遊ぶなかでそんな不安も一掃されました。また、1年間の研修期間でさまざまな先輩方にご指導頂いたことが、今の仕事にも活かされています。「人との繋がりがよい仕事を生む」…このような人材育成制度の充実は、大きな魅力だと思います。



# SHIELD



## 経験と失敗から学ぶ 土木の奥深さ…

施工管理  
下島 佑一 (2009年入社/工学部 建設工学科)

吉野川下流域農地防災事業 北部幹線水路建設工事 (徳島県)

土木の『一番の魅力』は、自分の想いがかたちになる所。わからない部分は先輩や協力会社の方々に聞きながらですが、自身で悩み抜いて出した答えがカタチになる…思い通りに進んだ時の達成感や喜びはこの仕事ならではの楽しみです。

失敗を恐れず積極的に挑戦する日々から新しいスキルが身につく。スキルアップによって仕事の奥深さが理解できるようになる。こういった面も魅力であり『やりがい』のある所だと思います。

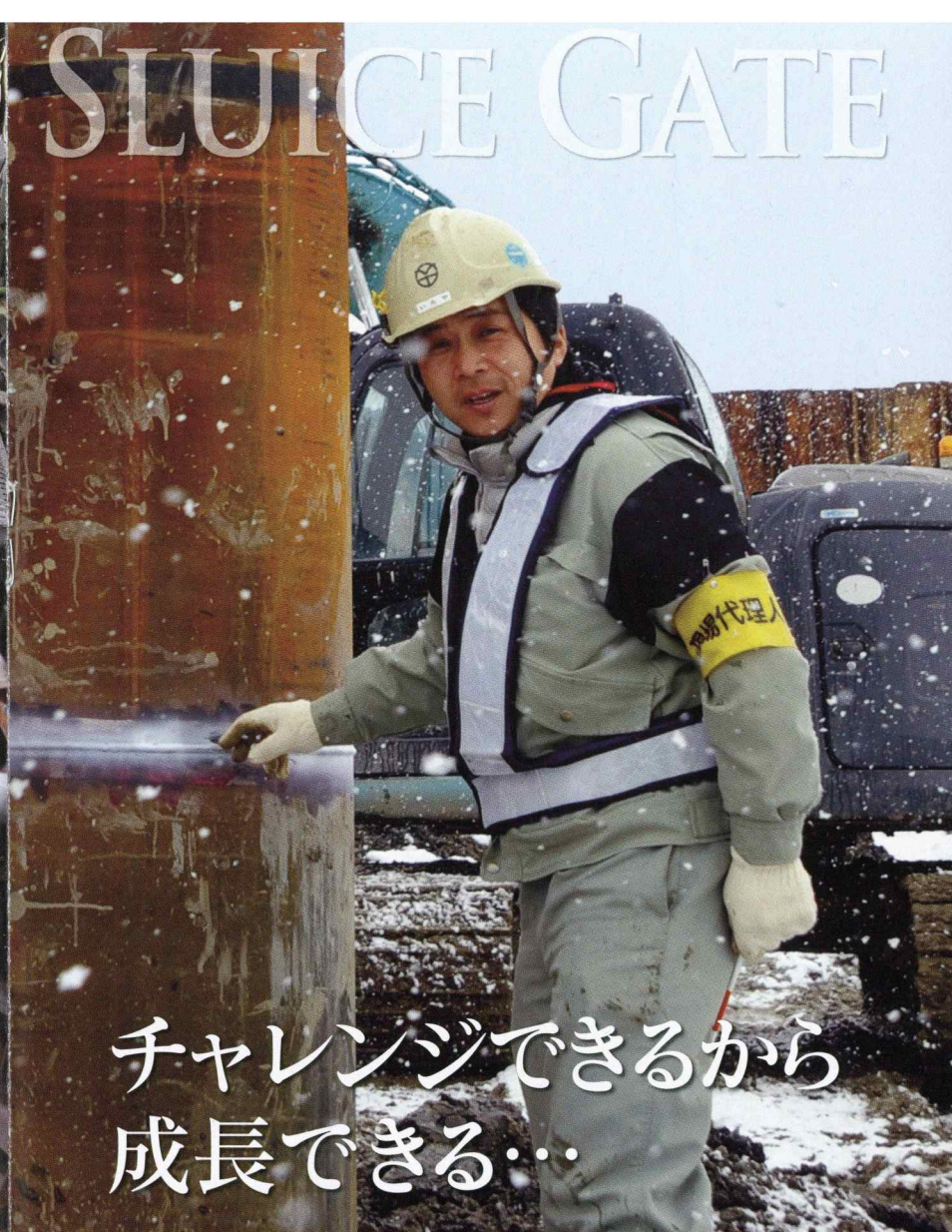
### 学生の皆さんへ…

土木の仕事はきついことも多いですが、完成形に近づいていく過程でワクワク…出来上がった時には涙が出るほど感動！それまでの苦労が吹っ飛ぶうえ、家族にも自慢できます(笑)。

私はそんな「土木」に魅せられ、誇りとやりがいを感じています。そのように思える仕事に就けるのは幸せなこと。私たちと一緒に人の役に立つモノ造りの「感動」を味わいませんか…。



# SLUICE GATE



## チャレンジできるから 成長できる…

施工管理  
板谷 輝彦 (1996年入社/工業高等専門学校 土木工学科)

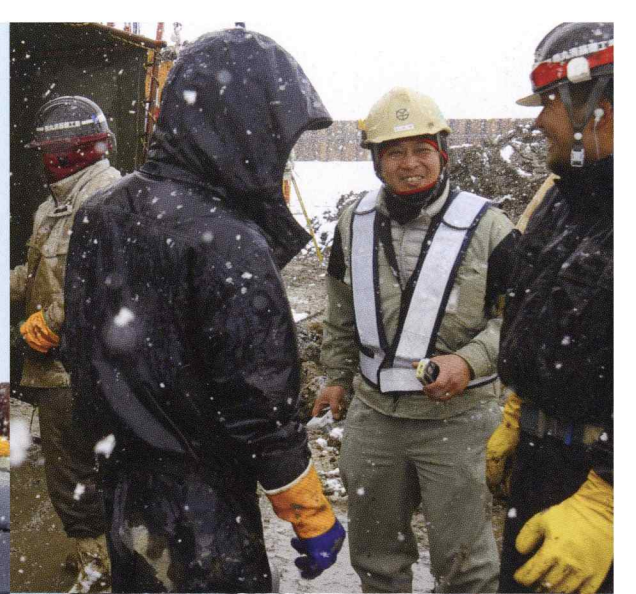
石狩川改修工事の内 東の里遊水地排水門工事 (北海道)

「大きなモノを造りたい」という子供っぽい動機で建設業界を選択。竹中土木を選んだ理由は『人』に魅力を感じたこと…現場で働く社員の方々には『モノ造りのプロ』としての誇りと熱意が感じられました。この会社で働きたいと強く思いました。入社してからは、先輩方の厳しくも人間味溢れる指導のおかげで技術者として自信もつき、今はモノ造りの最前線で充実した日々を送っています。

### 学生の皆さんへ…

自分は『何をやりたいのか』が就職活動では大切…その『思い』が強ければ、『熱意を持って』仕事を継続できると思います。

私は、高専卒でハンディを感じた事はありません。むしろ初めて現場に出た時は、大卒の同期より測量やCAD等の実践は出来ていた…「よい学校で学んだな」と感じたことを今でも覚えています。竹中土木は、社員の想いを尊重してチャレンジさせてくれる…やりがいのある仕事ができる会社だと思いますよ。





# 新入社員教育制度

竹中土木の新入社員教育の大きな特徴は、1年間という長い期間を費やす所にあります。入社後の1年間は、新入社員が社会人として成長し、幅広い知識・技術を習得するとともに、当社の伝統精神を身に付けるための『教育期間』と位置付けられています。

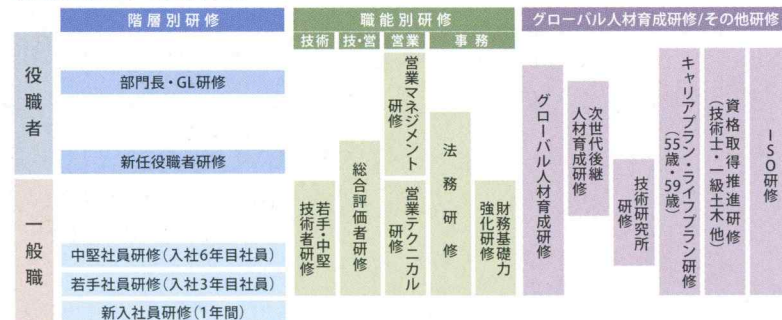
新入社員は、まず導入研修で当社の経営理念・経営戦略と方針展開・コンプライアンス等を学びます。次に、1ヵ月間の実務研修では工事管理(施工管理・安全管理等)、PC基本スキル及びCAD研修など、実際に業務を経験しながら各部門の役割や部門間での業務の流れを学びます。その後、作業所等へ配属されて行われる職場研修では、年齢の近い先輩が業務の基礎について指導・教育する等、技術者としての早期育成を図っています。

また、5ヵ月毎のローテーションにより幅広い経験・視野を養いながら人的ネットワークを形成。これらは、各人のキャリアの基盤となり竹中土木の総合力・人材力の礎ともなっています。

## 未来を担う人材の育成

竹中土木は「自ら考え行動できる人材が、真のプロフェッショナルとして時代に適合した新たな価値を創出し未来を担う」という考えのもと、仕事を通じた人材育成を重視しています。階層別研修・職能別研修・グローバル人材育成研修など、キャリア形成を支援する育成・教育体系に基づく継続的な人材育成に力を注いでいます。

### 従業員育成・教育体系



## 仲間意識と協調性を育む寮生活

新社員は原則として1年間寮生活をおくります。寮では、役員や経営幹部も参加する新入社員歓迎会や、自治会が開催する歓迎会・寮会・懇親会も開かれます。



1年間の新社員研修がスタート



社会人としての基礎を学ぶ新社員導入研修



竹中技術研究所で建設技術の真髄に触れる



土木を肌で感じる…現場見学



社長・役員とともに野外研修ハイキング

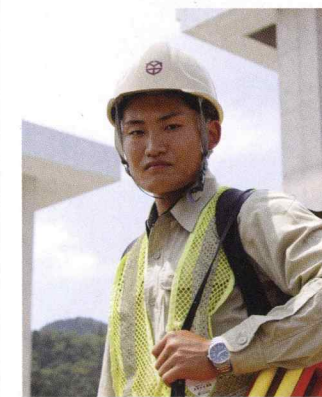
# 新入社員の声



## 久山 英治

2016年入社  
工学部 都市デザイン工学科

初めての現場は、優しく話しやすい先輩ばかりなので毎日が楽しいです。今は色々な工種を経験…分からない事は遠慮なく聞いて多くのものを身に付けたいですね。当面の目標は少しでも先輩方の負担を軽くする事。そして“測量技術”の向上…機器の扱いだけでなく、CAD図面から座標を拾い出す…方法は教えて頂いたので、完璧に出来るよう猛勉強するつもりです。



## 佐久間 篤

2016年入社  
工学部 資源学部 土木環境工学科

ゼネコンの現場監督を志望…実際に現場で施工担当してみると専門用語や重機の名称、工種等あまりにも自分が知らない事が多くと痛感。また想像以上にコミュニケーションが大切と感じました。

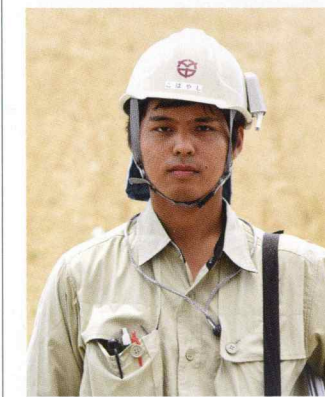
今は、早く仕事を覚えて作業員の方々が現場を安全に円滑に進められる監督業務。さらに、「何をすればよいかを自ら考えて行動すること」を心掛け日々精進しています。



## 大濱 里奈

2016年入社  
環境都市工学部  
都市システム工学科

学生時代と比べ朝早いのは大変ですが、毎日変化していく現場はとても充実しています。分からない事は先輩や上司の方々に質問…知識を増やしながら現場を付けて回って勉強中。安全当番や材料発注など「一人で任される仕事」をもっと増やしたいですね。家庭を持っても仕事は続けたいので「会社に貢献できる一人前の技術者」が目標です。



## 小林 拓也

2016年入社  
工学部 都市工学科

現場の朝は大切な時間ですが、集合研修での寮生活が楽しかった分、正直早起きは辛いですね(笑)。施工管理の仕事はイメージしていたより慣れるまで時間が必要と感じますが、目まぐるしく動いていく現場は毎日が充実していて楽しいです(笑)。親しみやすい先輩ばかりで恵まれた環境ですから、少しでも役に立てるよう“早く仕事を覚えること”が当面の目標です。





竹中技術研究所 TAKENAKA Research & Development Institute



人と地球の架け橋に

 **竹中土木**

本社・管理本部 人事部/〒136-8570 東京都江東区新砂1丁目1-1 ☎03-6810-6211

<https://www.takenaka-doboku.co.jp/>